

令和8年度高松市外部評価 総括表

評価対象事業

人口減少、少子・超高齢化社会の進行や、限られた行財政資源の中で、複雑化する行政課題に的確に対応していくため、事業効果を『検証』し、改善に向けた具体的な『意見』や『アイデア』を得るため、外部委員との意見交換を行う外部評価を実施。

対象事業は、令和6年度事務事業の中からまちづくりプランの『重点取組事業』を除き、評価が『改善』となっている事業かつ7年度事務事業評価で、引き続き『改善』となっている18事業のうちから、行財政改革推進委員会が3事業を選定。



No.	事業名	所管課
1	就業支援推進事業	創造都市推進局 産業振興課
2	男木島灯台資料館管理運営事業	創造都市推進局 観光交流課
3	市民スポーツ活動推進事業	創造都市推進局 スポーツ振興課

事業全体概要	就労促進事業として、労働関係情報発信事業（たかまつ労政だよりの発行等）を実施する。中小企業等表彰事業として、従業員の働き方改革に積極的に取り組み、また、産業の振興や本市施策への貢献度が高い中小企業等を表彰する。 そのほか、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に対して補助する。
8年度概要	①労働関係情報の発信のための労政だよりの発行 ②中小企業等表彰事業費 ③勤労者福祉対策事業補助金 ④労働者福祉対策事業補助金
対象	市内中小企業等や、勤労者福祉に関する事業を行っている団体など
意図	労働関係情報の発信、中小企業等の表彰、また勤労者福祉に関する事業を行っている団体への補助を実施することにより、企業における労働環境の改善やワークライフバランスの推進を図る。

1 就業支援推進事業【産業振興課】

委員から出た意見

表彰基準の信頼性と価値向上	求職者や若者への効果的な広報	事業内容の選択と集中
✓ 受賞の基準や選考過程が不透明にならないよう、基準を明確にし、広く公開することを検討すべき。 ✓ 受賞後の企業の成長を支援・発信するなど、価値のある制度にすることが重要。	✓ 企業の労働環境が良くても、求職者（若者・大学生など）に情報が届かなければ意味がない。ネットやSNSを活用した分かりやすい発信が必要。	✓ 事業目的である「就労環境の充実」に直接結びつかない補助金は見直し、事業のターゲットをより明確にした上で効果的な見直しを図る必要がある。



今後の改善・見直しの方向性

制度の透明化と魅力向上	広報の強化	制度の魅力アップ
✓ 評価基準の公開に向けた準備を進めます。 ✓ 受賞企業のその後の活躍を発信するなど、表彰制度の価値向上を検討します。	✓ 受賞企業の魅力を若者や求職者にしっかり届けるため、発信方法を見直します。	✓ 補助金については「就労環境の充実」という事業目的との関連性を精査し、今後のあり方を検討します。

事業全体概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託し、観光客の利便を図り、リピーターの確保に努める。
8年度概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。
対象	男木島への来島者数
意図	来島客の満足度の向上を図り、リピーターの確保を目指す。

委員から出た意見

利便性の向上と 歩きたくなる情報発信	誘客の工夫と魅力づくり	運営体制と費用対効果
✓ 交流館等での「30分歩けば素晴らしい景色が見られる」といった分かりやすい案内や、Instagram等のSNSを活用した魅力の事前発信が重要。	✓ アニメの聖地化だけでなく、島全体でリピーターや消費を増やす前向きなイベント等の取組が必要。	✓ 施設の開館日数の拡充や、島内での消費・滞在を促す持続可能な観光施策を検討すべき。



今後の改善・見直しの方向性

プロモーションの連携強化	灯台との連携	島内での消費促進
✓ 男木島観光協会と協力し、SNS等を通じて島の魅力やアクセス情報をより見やすく発信します。	✓ 海上保安庁の灯台イベント等とも連携し、子どもたちが楽しめる体験や、島内を歩きたくなる仕掛けづくりを検討します。	✓ 来島者数だけでなく、訪れた人がしっかり満足し、地域の生業や観光産業の維持(消費拡大)につながる施策を進めます。

3 市民スポーツ活動推進事業【スポーツ振興課】

事業全体概要	生涯スポーツの振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 コミュニティスポーツ専門部及び健康・体力づくり専門部等と連携、支援する中で、各種事業を展開するとともに、（公財）高松市スポーツ協会 競技スポーツ専門部等への支援を通じて、競技力の向上に取り組んでいる。また、青少年のスポーツ振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 高松市スポーツ少年団と事業を実施するなど連携・支援を行っている。 また、本市が委嘱しているスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っている。
8 年度概要	スポーツ推進審議会委員の報酬（11人×2回） スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等（86人×26回） 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金
対象	小学生以上の市民
意図	地域住民に対しては、各小学校区に2人ずついるスポーツ推進委員を中心として、スポーツの振興を図る。 主催6大会の参加チーム数を増やす。

委員から出た意見

参加しやすい仕組みとターゲットの見直し	時代に合わせた競技（ニュースポーツ）の導入	スポーツ推進委員の役割と活性化
✓校区の枠組みだけでは参加しづらい子育て世代や若年層に向けて、企業チームの参加や自由参加の枠を広げるべき。	✓「ボッチャ」など、誰もが気軽に参加できる新しい競技を積極的に取り入れ、参加者のすそ野を広げる。	✓地域スポーツの要であるスポーツ推進委員の活動を支援し、市民全体への効果的な周知と大会運営の活性化を図る。



今後の改善・見直しの方向性

新しい競技の導入	周知方法の工夫	多様な参加スタイルの検討
✓バレーボールからカローリングへの変更のような実績を踏まえ、今後は「ボッチャ」などの導入も検討します。	✓スポーツ推進委員を通じた地域への案内に加え、子育て世代や若年層にも情報が届くよう広報を工夫します。	✓地区にとらわれない参加や、企業のチーム参加など、時代に合わせた大会運営について関係団体と共有・検討します。